

2017  
December

VOL. 6

12

# ガバナー月信



## ▼ Contents

ガバナーメッセージ	1
2017-2018 年度地区大会の報告	2
半期をふり返って	4
地球環境保全のための植樹事業報告	5
第1回米山記念奨学委員長セミナー報告	6
I・M報告 (1,3 分区)	7
新会員紹介・訃報	9
今月の予定	10
会員数及び出席報告	11
コーディネーターニュース	12
ハイライトよねやま	13
文庫通信	15

2017-18 Rotary International District 2560  
2017-18 Rotary International District 2560

Rotary



国際ロータリー第 2560 地区 2017-2018 年度

新保ガバナー事務所

〒951-8053 新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟 1F

TEL:025-222-2561 FAX:025-222-2565

E-MAIL [k.shinbo@rid2560niigata.jp](mailto:k.shinbo@rid2560niigata.jp)





## 「疾病予防と治療」

2017-2018 年度 ガバナー  
新保 清久 (新潟万代RC)

12月のロータリー特別月間は、「疾病予防と治療」です。

ロータリーで疾病というとポリオプラスの活動の報告が第一になります。

平成29年1月～10月末でアフガニスタン、パキスタンで合計12名の患者が確認されました。1985年にロータリー創立80周年を記念して、15年後の2000年にこの世からポリオを絶滅するというキャンペーンを開始しました。以来、2000万人のボランティアが25億人の子どもにワクチンを接種してきました。当時は、世界で35万人のポリオ患者がいて、毎年数万人が死亡していました。キャンペーン開始以来30年を経てようやく根絶の目処が立ちましたが、今後、発症者がゼロとなっても、さらに毎年5000万人の子どもに3年にわたりワクチンを接種しなければ、絶滅宣言となりません。

私達に出来ることは、募金で協力することです。

約6千年前の縄文中期(BC4千年)の日本の人口は、約26万人、それから千年後(BC3千年)の縄文後期には、8万人にまで減少したといわれています。

鳥インフルエンザなどの疫病の蔓延が原因と考えられています。

時代が下り、今から約1000年～700年前の平安時代、鎌倉時代になりますと640万～680万人となり、約400年前の関が原の合戦の頃には、1220万人。それから260年余りの太平の世が続いた江戸時代に、3千万人になり、明治時代が3330万人、それから100年の間に急増して、ピークの2010年には12800万人となりました。

日本の人口は、100年後には、5000万人以下になると予測されています。

ちなみに明治時代の日本の人口急増については、産業革命後に世界一の債権国となったイギリスは、少子化が進み、数十年後には、国力が低下するという危機感から当時、極東アジアに位置する日本の目覚ましい人口の急増に対して、日本に学べという記事が1900年のイギリスタイムズ誌に掲載されました。

マイロータリーの記事によりますと現在の地球人口は、75億人と推定されていますが、毎年世界で10億人が、テング熱やハンセン氏病に苦しんでいます。先進国での症例が少ないため製薬会社の開発が遅れています。

世界には保健従事者の数が人口1万人あたり23人に満たない国が57あり、毎年世界で240万人の医師、看護士、助産婦、熟練介護者が不足しています。

世界人口の6人に1人が医療費を払うことが出来ません。医療費の負担によって、毎年1億人が貧困生活に追い込まれています。

ロータリーでは、地域の定評ある医療機関とパートナーシップを結び、奉仕プロジェクトの質と規模を高める事例が沢山紹介されています。

第2560地区の複数のクラブでもタイなどに透析などの医療設備や医療技術の教育、研修支援活動を行っていますが、今後は、さらに多くのクラブが協力して、より大規模に他の地域にも活動を拡大することが必要だと思えます。



## 「第 2560 地区 2017-2018 年度地区大会の報告

### 悠久の大河信濃川の畔で地区大会開催される」

地区大会実行委員長

石動竹治 (新潟万代 RC)

2017-2018 年度地区大会が去る 10 月 28 日～29 日国際ロータリー会長代理三木御夫妻をお迎えし、第 1 日目・ホテルオークラ新潟(211名) 第 2 日目・朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター(1019名)で総勢1230名が参加して賑々しく開催されました。

#### 第 1 日目 ホテルオークラ新潟

##### 地区指導者育成セミナー

13時より新保ガバナーの挨拶、三木 RI 会長代理のご挨拶を頂き、その後はプログラムにのっとり「各委員長報告」・「江崎 ロータリー日本財団理事」・「張 博 米山学友」「関 東京米山友愛 RC 特別代表」からそれぞれ大変有意義な御講演を頂き無事終了致しました。



#### 国際ロータリー会長代理地区指導者育成セミナー歓迎晩餐会

17時20分から開催された晩餐会では山本エイドご夫妻にもご列席頂き新保ガバナーの歓迎の挨拶に始まり、地区指導者育成セミナーとは趣きをがらりと変え、日本三大花柳界と云われる古街芸妓による踊りを御披露致しました。特に難しい踊りの相川音頭には三木御夫妻始め皆様から賞賛の声を頂きました。



## 第2日目 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

### 本会議午前の部

9時25分から 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターに三木 RI 会長代理ご夫妻をお迎えして開催されました。

新保ガバナー挨拶の後、ご来賓の米山知事、篠田新潟市長(代理)、福田商工会議所会頭の祝辞を頂き RI 会長代理ご挨拶、RI 会長メッセージ、大会委員会報告、大会決議案採択、各種表彰、2018年国際大会アピールを最後に午前中のプログラムは終了致しました。

### 本会議午後の部

13時より藤沢 周先生の記念講演で始まり地区ゴルフ大会表彰で盛り上がり学生の活動報告、最後に三木 RI 会長代理の大会講評を頂き本会議を終了致しました



### ロータリー親睦交流会

15時50分から我が万代ロータリークラブが練りに練った新潟江戸神輿連合によるアトラクションが始まりました。江戸神輿連合常起会の先導で三木 RI 会長代理、新保ガバナー、山本エイドが入場され、連合の皆さんの お祝いの纏振り、木遣り、三本締め が披露されました。

普段は滅多に見られない粋でいなせな芸にきっと皆様満足された事と思います。

最後に、万感の思いを込めた【手に手つないで】斉唱で2日間の幕を閉じました。

私達新潟万代ロータリークラブは創立25周年、会員数40人の弱小クラブです。

この地区大会と云う大事業を引き受ける事にはあまりにも非力でしたがコ・ホストクラブの南ロータリークラブの富山修一会長、地区大会実行副委員長を引き受けて下さいました

片桐 豊さん始め会員の皆様、西ロータリークラブの中山雄二会長、地区大会実行副委員長を務めて下さいました山本文治郎さん始め会員の皆様そして、我が万代ロータリークラブ一丸と成って地区大会をつつがなく終える事が出来ました。



此の場をお借り致しまして地区大会に関わって下さいましたご関係各位には衷心からお礼申し上げます。何分不慣れな事ゆえ至らぬ処が多々有り、皆様にはご不便をお掛けしたと思っておりますが、何卒地区大会に免じてお許し頂きます様 伏してお願い申し上げます。

向後ともわが新潟万代ロータリークラブを宜しく御願ひ申し上げます。有難う御座いました。



## 「半期をふり返って」

地区筆頭副幹事

千田 芳資(新潟万代RC)

すでに初雪を見るころになりましたが、私が新保ガバナー年度の地区筆頭副幹事をお受けしてから早いものでまもなく6ヶ月目を迎えようとしております。ロータリー歴のまだ浅い私が地区の副幹事としての職務を無事はたす事が不安でしたが、地区3役(新保ガバナー・丹治地区幹事・伊藤財務委員)の方々の助言や心配り、また地区事務所のスタッフの方々の応援もあり半年が過ぎました。ロータリーを基本とした地区組織の運営やガバナー事務所の役割分担など日々勉強させられます。

私の大きな役割であるガバナー公式訪問の日程調整やガバナー同行では丹治地区幹事をはじめとする各委員会の副幹事の方々からご協力をお願いしてあと5クラブを残し12月ですべての公式訪問を終了する予定です。各分区への公式訪問ではさまざまなクラブ運営(クラブ協議会)のあり方やロータリーの考えかたの違いなど非常に勉強になります。

年度テーマである「変化をもたらす」のとおり、《変えなければいけないもの、変えてはいけないもの》が今後のロータリーでは大切であると感じたところです。また、各クラブの大変あたたかい歓迎の懇親会にも出席させていただき各クラブの特色と奉仕活動に対する考え方などを再認識いたしました。

年度をまたぐPETS・地区研修協議会・地区ゴルフ大会・地区大会も無事終わることが出来ました。特に地区大会1日目(地区指導者育成セミナー)では司会を担当する事となり色々な汗をかき良い経験をさせてもらいました。

新保ガバナー年度はあと6ヶ月を残しておりますが、すでに次年度(川瀬ガバナーノミ二一)の活動も始まっております。次年度へのスムーズな引き継ぎ等ができるよう今後も各クラブ、各地区役員の方々のご協力をお願いして感想といたします。



## 「地球環境保全のための植樹事業経過報告—中越地区終了—」

社会奉仕委員会副委員長  
田鹿 紀之（新潟南RC）

2017-2018年度国際ロータリー第2560地区事業として行われている「地球環境保全のための植樹事業」の第2回目として、さる10月26日（木）に十日町市旧市民スキー場跡地で植樹を行いました。

当日は素晴らしい秋晴れの下、平日にも関わらず新保ガバナー、鈴木重壺・佐々木昌敏パストガバナーをはじめ、中越地区のクラブを中心に9クラブから43名の会員からご参加いただきました。

新保ガバナーから、十日町市民協働の森づくり実行委員会の村山会長さまに目録の贈呈のあと、皆さんからは移植スコップを片手に急斜面を登っていただき、ブナの苗木160本をしっかりと植えることができました。



この度の植樹は、「にいがた緑の百年物語緑化推進委員会」様のお手配により、十日町市民協働の森づくり実行委員会様の全面的なご協力を頂き実現したものです。

同実行委員会には十日町RCの会員も大勢加入されており、郷土の森づくり、未来へ大切な自然を残すために、永年に渡りこの場所での植樹、育樹に取り組んでおられます。

今回植えたブナの苗木が、やがて降る雪の下でも、しっかり根を張って元気に育ってくれることを祈るばかりです。

この植樹事業はこの後、来年5月ごろに新潟市青山海岸と、村上市あらかわ運動公園の2か所で実施する計画です。改めてご案内いたしますので、特に下越地区のクラブの皆様の大勢のご参加をお待ちしております。



## 「第1回米山記念奨学委員長セミナー報告」



米山記念奨学委員会寄付増進委員会委員  
中町 圭介 (小千谷RC)

10月7日13時より16時までホテルイタリア軒で行われました国際ロータリー第2560地区2017-2018年度第1回米山記念奨学委員長セミナーについてご報告いたします。

まずもって今年度は米山記念奨学会が財団として設立されて50周年という節目の年であります。

昨年度までに累計19,808人の奨学生が日本で学び、祖国でまたは日本、世界中で活躍をされています。

当2560地区でも昨年実績で個人平均寄付額18,927円と全国34地区中7位という高順位を納め、各世話クラブ様とカウンセラー様のご協力で新規奨学生18名、継続奨学生7名の計25名の迎え入れております。



当日は各クラブ米山記念奨学委員長及び地区米山記念奨学委員を合わせまして計59名の参加者。

川瀬康裕ガバナーエレクトよりご挨拶を賜り、宇尾野地区米山記念奨学委員長からの挨拶。

その後、ゲストとして(公財)ロータリー米山記念奨学会 武本泰子さまより特別講演『世界に平和の種をまく』をいただきました。各クラブ米山記念奨学委員長の任期は一般的に単年になっていますので、事業に対して理解しづらい部分も多々あると思いますが、武本さまのお話は大変解りやすく、奨学金制度の仕組みや成果などを説明頂きました。

また、米山記念奨学生チャンティフォンさん(ベトナム出身 敬和学園大学3年 世話クラブ新潟北RC)

米山記念奨学生ペニャゴンザレス、ルイスエドアルドさん(メキシコ出身 長岡技術科学大学修士1年 世話クラブ三条RC)の2名から日本での体験談、祖国のこと、RCとのかかわり、カウンセラーとの交流など体験発表を堂々と日本語で行ってもらいました。



米山記念奨学生による体験発表は私たちこの事業に関わる者としていつも喜びと励みになります。

その後 野崎寄付増進委員長より「地区米山記念奨学委員会と寄付の現状」をお話いただき、質疑応答と中身の濃い時間となりました。

今年度も新保ガバナーよりの個人平均寄付額20,000円という目標に向かって各クラブ米山記念奨学委員長さま及び地区役員共々頑張ります。改めましてロータリアンの皆様の米山記念奨学会へのご理解とご協力をお願いいたします。



## 第1分区IM報告

### 「第1分区 IMを終えて テーマ：変化と対応」

第1分区ガバナー補佐

大平 力 (中条胎内RC)

去る9月30日(土)、中条グランドホテルに於いて、2017-2018年度第1分区IMを開催いたしました。総勢230名の参加をいただき、盛大に行なう事ができました。

今回のテーマを‘変化と対応’とし、RI会長、イアンH. Sライズリー氏が、奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらすと言っていらっしゃいます。私なりの解釈として、まず、自分自身の心に変化をもたらし、行動をおこし奉仕していく事が、地域の人々に変化をもたらす事になるのではないかと考えました。



そこで、田中真澄先生による「100歳まで、働く時代がやってきた」の題目で、講演をしていただきました。

長寿大国日本が、これから目標を持って働き、地域に奉仕していく事が、必要になってくると思ったからです。1時間半の熱のこもった講演をしていただき、

会員の皆様が真剣にメモをとっていました。終わってから、素晴らしい講演だったとの感想をいただきました。また、懇親会においては、9クラブの皆様と楽しいひと時を過ごす事が出来ました。最後まで全員がいてくださり、‘手と手をつないで’を一緒に合唱する事ができ、IMを中条胎内のメンバー全員で創り上げて良かったと思いました。

参加していただいた9クラブのロータリアンに感謝申し上げるとともに、来年のIMの開催クラブの村上岩船ロータリークラブに期待し、また、協力していきたいと思っております。

以上で、第1分区IMの報告とさせていただきます。



## 第3分区IM報告

### 「ロータリー財団と奨学生制度」



第3分区ガバナー補佐  
原 寛 (新津RC)

地区内7分区の最後を飾って、去る10月22日に新潟薬科大学新津東キャンパスにおいて、第3分区インターシティミーティングを123名のロータリアンの全員登録をいただき開催いたしました。



来賓としてお招きした新潟市秋葉区区长 熊倉淳一様、新潟薬科大学学長 寺田 弘様よりご挨拶を頂戴したのち、いよいよ基調講演に入り、国際ロータリー第2560地区ロータリー財団委員会学友会委員長・2014-15年度新潟RC会長・新潟大学副学長「高橋 秀樹」氏より「奨学生とロータリアンの両方の立場から」と題して、自らも財団奨学生だった貴重なお話をうけたまわり、加えて1970年代に奨学生としてアメリカに留学された長谷川 実さん、2002年にフランスに留学された八木 瑞香さんのお二人からも講演をいただき、立派に社会で活躍されている様子を拝聴いたしました。これを機にわずかではございましたが、第3分区ロータリアン一同として、地区の財団にIM登録料の中から1000ドルの寄付をさせていただきました。



その後の親睦交流会では、補佐の勝手な一存で三流亭楽々さんをお招きし、新潟RCと関係の深い小林与八郎氏、伊藤弥太郎氏の「デバート」の口演を頂戴しました。昭和30年代のなつかしい古町の様子を思い浮かべながらくつろぎ、IMの本来の目的である会員相互の情報交換と親睦を深め、盛会のうちに無事終了することができました。



## 新入会員 紹介 (敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	職業分類
村上	工藤 健生	2017. 10. 5	(株)コウデン	電気工事
新潟	森下 英樹	2017. 10. 10	麒麟ビール(株)	ビール醸造
新潟	今井 政人	2017. 10. 24	東日本旅客鉄道(株)	鉄道運輸
新潟北	西山 明広	2017. 11. 6	(株)WEST	看板製作
燕	斎藤 智則	2017. 11. 16	(株)新武	プレス金型設計製作
燕	田中 良	2017. 11. 16	田三金属(株)	金属洋食器製造
燕	高橋 広紀	2017. 11. 16	(株)タカヒロ	業務用厨房用品製造販売
長岡	小谷 茂樹	2017. 11. 7	(株)東海日動パートナーズ新潟	損害保険
長岡東	水戸 一哉	2017. 11. 1	大和証券(株) 長岡支店	証券業
直江津	中川 雄一郎	2017. 11. 7	(株)I & C PLAYING PARTNERS	広告業
糸魚川	樋口 浩	2017. 11. 1	(株)黒姫会館	食料品配布
越後春日山	岡沢 雅子	2017. 10. 12	ラブアース アカデミー	コーチング・人材育成講座
越後春日山	松田 光代	2017. 10. 12	R u p o s e	美容業
越後春日山	荒井 浩司	2017. 10. 19	(株)テレビ新潟放送網	放送業

## 訃報

第4分区ガバナー補佐 三条南RC

鈴木 武 様

ご逝去日：2017年11月15日

(株)鈴木商店 代表取締役会長

村上RC 羽鳥 宏 様

ご逝去日：2017年10月31日

羽鳥医院 院長

五泉RC 山田 健治 様

ご逝去日：2017年10月29日

東栄ドライ(株) 代表取締役会長

心よりご冥福をお祈りいたします。

## 12月地区の予定 【疾病予防と治療月間】

2017年12月		地区主要行事	会場
2	(土)	地区諮問委員会・川瀬年度第1回地区運営会議・ガバナーエレクト渡米壮行会	ホテルオークラ新潟
9	(土)	ロータリー財団地区奨学生選考試験	ホテルオークラ新潟
10	(日)	2017全国青少年交換委員長会議	コンベンションルームAP東京 八重洲通り
23	(土)	青少年交換学生 2017年12月一年派遣学生オリエンテーション	ANAクラウンプラザホテル新潟
23	(土)	青少年交換学生 2017クリスマスパーティー	ホテルオークラ新潟

## 12月ガバナー公式訪問日程表

2017年12月	ガバナー公式訪問	分区
5	(火) 新津中央	3
8	(金) 新潟東	2
12	(火) 新潟中央	2

2017年12月	ガバナー公式訪問	分区
14	(木) 新潟西	2
18	(月) 新潟万代	2

## 「2016-17年度 第1ゾーンロータリーカード・ベスト地区賞」受賞

11月20日(月)ホテル グランドニッコー東京台場 パレ・ロワイヤルの間」で開催された「ロータリー財団セミナー地域セミナー(ゾーン1-3)」におきまして、表彰されました。



また、「End Polio Now:歴史に1ページを刻もう」キャンペーンに参加した感謝状もいただきました。新保年度でも更なるご協力をお願いいたします。



第2560地区 2017-18年度 10月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	10月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	87.69	364	382	37	18
新発田	3	97.55	93	98	0	5
村上	4	86.84	37	38	9	1
水原	3	81.33	27	28	0	1
中条	3	96.27	34	36	3	2
新発田城南	4	86.79	41	43	4	2
豊栄	4	88.89	26	27	3	1
新発田中央	4	86.02	45	48	5	3
中条胎内	4	83.34	33	36	7	3
村上岩船	4	82.14	28	28	6	0
第2分区(9クラブ)	／	84.42	441	462	21	21
新潟	4	92.70	86	95	0	9
新潟東	4	87.12	62	63	9	1
新潟南	4	77.21	99	106	2	7
佐渡	4	82.10	7	7	0	0
新潟西	3	91.89	41	41	1	0
佐渡南	5	93.23	41	42	4	1
新潟北	4	69.65	43	43	0	0
新潟中央	5	86.40	24	25	0	1
新潟万代	4	79.49	38	40	5	2
第3分区(6クラブ)	／	81.68	122	122	7	0
新津	4	75.00	18	18	0	0
村松	5	97.78	11	11	0	0
五泉	4	80.00	17	15	2	-2
白根	3	86.66	37	37	2	0
新津中央	5	80.65	29	31	2	2
阿賀野川ライン	4	70.00	10	10	1	0
第4分区(11クラブ)	／	78.84	368	370	21	2
三条	4	87.50	57	60	0	3
燕	4	71.42	33	31	1	-2
加茂	4	84.81	29	28	4	-1
三条南	3	94.18	48	48	2	0
分水	4	85.59	31	30	3	-1
見附	4	74.00	20	21	1	1
吉田	3	80.80	33	33	2	0
三条北	4	81.92	64	65	2	1
巻	4	82.10	14	14	0	0
田上あじさい	4	53.10	7	8	1	1
三条東	4	71.78	32	32	5	0

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	10月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	／	85.53	314	326	22	12
長岡	4	87.84	39	47	1	8
柏崎	4	80.35	45	46	0	1
長岡東	3	92.70	66	69	4	3
柏崎東	3	92.00	50	49	4	-1
栃尾	4	89.19	21	21	0	0
長岡西	4	80.45	57	58	5	1
柏崎中央	3	76.15	36	36	8	0
第6分区(6クラブ)	／	82.54	154	156	11	2
十日町	4	96.32	34	34	3	0
小千谷	2	69.44	38	39	5	1
雪国魚沼	3	72.70	25	26	2	1
十日町北	3	97.22	23	24	0	1
津南	4	84.61	27	26	1	-1
越後魚沼	4	74.97	7	7	0	0
第7分区(8クラブ)	／	81.59	320	325	29	5
高田	4	98.23	66	66	0	0
直江津	5	86.00	48	48	3	0
新井	4	74.14	29	30	3	1
糸魚川	4	78.57	42	42	3	0
高田東	4	72.37	38	38	3	0
糸魚川中央	4	84.56	34	34	0	0
頸北	4	78.60	14	15	1	1
越後春日山	4	80.24	49	52	16	3

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,083	人
10月末 会員数	2,143	人
女性会員数	148	人
純増減会員数	60	人
当月平均出席率	83.09	%



RPICの渡辺治夫さんの計報に接し、言葉もありません。9月号の彼の寄稿を読み返し、その鋭い視点を改めて学ばせていただきました。 合掌。

今月号は小生の担当(400字)です。9月号に引き続いて会員増強への御協力をお願いすることになります。「我がクラブを町おこしの中心クラブになっていただくためにクラブのビジョン声明を…」と前号で述べました。過去様々な世界のロータリーリーダー達が、“ロータリー運動がたとえ世界的規模に広がろうとも、原点はクラブレベルでは地域への奉仕活動です”と、説いています。

私達は、自分達の企業が地域の皆さんのおかげで成り立っていることを知っていますから、地域が元気になるための努力を惜しんではいけません。これからは、その方策をクラブとして考え実施していくことが必要となると思います。それをビジョンとして明確化させ、継続して取組みを続けていきたいと考えますが…そんな貴兄の姿やクラブを地域の人々が見ています。やがては一緒に活動する仲間に加わってくれると信じています。

そんなことを夢見ている綿秋です。

国際ロータリー理事 斎藤直美

## 新会員のオリエンテーションやセミナーは重要

早いもので、今年も余すところ1ヶ月となりました。ロータリー年度では12月末と年度末の6月がクラブ会長・幹事、会員増強委員長にとって、一番心を悩ますシーズンです。

ガバナー年度、2750地区では4,900名を超え5,000名が見えたと思った瞬間があり、楽しみに年度末の会員数を心待ちにしていたのですが、結果は想像以上に厳しいもので、5,000名はおろか4,900名をも割り込みました。純増数は80名前後に留まりました。日本全体では、6月に700名の方が会員となられましたが、なんと2,800名の方が一ヶ月で退会されました。会員増強に各クラブ、各地区が努力されている一方で、ロータリーの本来の楽しみを理解する前に多くの方が退会されることが散見されます。

クラブにおいても地区においても、新会員オリエンテーションや新会員セミナーの重要性を一層理解して頂きたいと思えます。また、ロータリークラブに入った大きな理由である業種を超えた交流をクラブは無論、グループ、地区、地区外ロータリアンとの交流の場を多くの会員が持てるよう、配慮して頂きたいと考えます。ロータリーでは様々な活動に、実際に参加して行動してこそ、ロータリー本来の楽しみを見出すことが出来ると思えます。

リーダーの方々には是非そのことをクラブ会員に伝えて頂き、クラブの活性化、クラブ基盤の強化に繋げていただきたく思います。

第2ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 水野 功



## 行動をもって「公共イメージと認知度の向上」を推進しましょう

イアンH. S. ライズリーRI会長は、「ロータリーとは何ですか?」という問いに「自らの「行動」によって答えましょう」と述べました。ロータリーの「公共イメージと認知度の向上」への取り組みにおいても、「ロータリアンの行動する姿」を見てもらうのが一番効果的であると実感しております。

私の所属する第2780地区横須賀ロータリークラブ(神奈川県)では、10年前より毎年「10,000メートルブルームナードグリーン作戦」を開催しています。地域の清掃ボランティア活動ですが、今年は3月12日の日曜日に実施。横須賀市に拠点を置く6つのロータリークラブ、ローターアクト、ボーイスカウト、6高校から総勢621名の参加がございました。この621名が6つの出発点に別れて一斉にスタート、清掃活動をしながら市民と触れ合いながらゴール地点である横須賀港湾岸緑地である「海辺つり公園」を目指しました。清掃活動をする私達の行動を、昇り旗のロータリーの文字を、キャップについてロータリーのロゴをいったい、何千人、何万人の市民が見たことでしょ。

私自身もこの活動をしていて、多くの市民の方と触れ合ったり、挨拶をしたり、そして人の目に触れている事を実感致します。人間の五感(視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚)の内、最も情報摂取量が多いのは全体の87%を占める「視覚」なのです。「ロレックス」は世界的一流の時計ブランドですが、「ロレックス」という皆様はすぐに「腕時計」をイメージされるでしょう。

何故でしょうか? 腕時計は「行動」する人の腕にあるからです。つまり「行動性」があるので、他人の目に触れる機会が多いのです。一方、壁掛け時計は自宅の壁に固定されているため、他人の目に触れる機会が少ないのです。私達は行動する事によって、そしてその姿をより多くの人に見てもらふ事によって「公共イメージと認知度の向上」を推進して参りたいと存じます。

第2ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 渡辺 治夫

渡辺治夫 第2ゾーンロータリー公共イメージコーディネーターが十月二十六日逝去されました。ご報告申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り致します。右の記事は九月号の再掲載です。尚、RPCへのお問い合わせは当面は第1ゾーンRPC鈴木秀憲、又は第3ゾーンRPC横山守雄にお願いいたします。



## 彫刻コンクールで学友が大賞を受賞



彫刻家として活躍する米山学友、キムキョンミンさん（2007-08／東京多摩グリーンRC）の作品が、「第27回UBEビエンナーレ」（現代日本彫刻展）で大賞を受賞しました。

同展は、国内で最も古い歴史を持つ野外彫刻国際コンクールです。2年に1度、山口県宇部市で開催され、今回は世界29カ国（日本含む）、277点もの応募作品の中から、キムキョンミンさんの「リメンバー宇部」が大賞を射止めました。外国人女性が大賞を受賞したのは1961年に同展が始まって以来初めてのことです。

キムさんの作品に共通するテーマは“視覚で感じる水音”。「オフィスビルやホテルのエントランスなどにも作品を飾ってもらい、末永く多くの人々に作品を愛していただけたら嬉しい」と、語っていただきました。



UBEビエンナーレで大賞を受賞した「リメンバー宇部」

## 寄付金速報 — 米山月間のご支援に感謝 —

10月までの寄付金は前年同期と比べて9.0%増（普通寄付金：2.3%増、特別寄付金：14.1%増）、約4,700万円の増加となりました。

今年は財団設立50周年の米山月間であり、50周年記念のご寄付をはじめ多数のご支援を

いただきました。米山学友を含め、多くの方々からのご寄付に心から御礼申し上げます。上期も残り2カ月弱となりました。引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 2018 学年度奨学金申し込み状況

2018 学年度のロータリー米山記念奨学金（学部・修士・博士／地区奨励）には、指定校534校（前年度532校）から1,355人（1,358人）が推薦されました。被推薦者の国籍・地域は、中国53.5%（51.5%）、ベトナム11.7%（11.0%）、韓国9.4%（11.9%）、そのほか、台湾、マレーシア、ネパール、インドネシアの順となっています。近年ベトナムの増加が著しく、今回は初めて、申し込み段階で韓国を越えて国籍別の第2位となりました。

被推薦者の奨学金別応募状況は、博士課程20.5%（20.8%）、修士課程42.7%（41.0%）、

学部課程35.0%（36.5%）、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、5地区11校から計24人の応募がありました。現役奨学生の延長制度「クラブ支援奨学金」には9地区14クラブから、また、促進期間中の「海外応募者対象奨学金」（個人応募）には、有効申込数77件の応募がありました。

11月中旬に各地区へPDF化した応募書類を郵送し、2月初旬までに地区選考委員会による書類選考・面接試験が実施され、2月中旬には新規採用573人枠（2017年11月現在）が決定します。

## 各地の地区大会で米山奨学生・学友が活躍

**第2510地区** 10月14～15日に函館市で開催された第2510地区（北海道）の地区大会では、場外に設けられた地区米山記念奨学委員会のテントで、米山のポスター展示やパンフレット配布、ビデオ上映などが行われました。

15日には、米山奨学生8人が早朝から集合してドリンクサービスを実施。当日は、快晴に恵まれたものの寒風吹きすさぶ中、奨学生たちは「米山奨学生です」「コーヒーをどうぞ」と、会員一人ひとりに笑顔で声をかけ、準備したコーヒー1,300杯、ジュース200杯が無くなるほどの盛況ぶりでした。「会員の皆様に、普段なかなか会う機会のない米山奨学生とふれ合っただく、とても良い機会になった」と、同委員会では、手応えを実感しています。



**第2610地区** 10月28日～29日に加賀市で開催された第2610地区（石川県・富山県）の地区大会には、米山学友でタイ・ポーサテッドナコンシーRC会員のテムラック・チャオさんがホームカミングで招かれ、スピーチをしました。



帰国後、日タイ両国間の事業投資交渉やコンサルティングを行う会社を設立し、ロータリアンとなったチャオさんは、クラブ会長となったのを機に、世話クラブである金沢RCと再び縁を繋いで、協同の国際奉仕プロジェクトに尽力。また、タイ日人材育成協会の会長として、すでに400人の学生を日本に送り出したことを報告しました。途中、チャオさんが感極まって言葉を詰まらせた時には、会場から「頑張れ！」と声援が送られる場面も。「これからもタイと日本の友好親善を深めるために、精一杯努めたい」と力強く締めくくったチャオさんに、会場から大きな拍手が送られました。

立し、ロータリアンとなったチャオさんは、クラブ会長となったのを機に、世話クラブである金沢RCと再び縁を繋いで、協同の国際奉仕プロジェクトに尽力。また、タイ日人材育成協会の会長として、すでに400人の学生を日本に送り出したことを報告しました。途中、チャオさんが感極まって言葉を詰まらせた時には、会場から「頑張れ！」と声援が送られる場面も。「これからもタイと日本の友好親善を深めるために、精一杯努めたい」と力強く締めくくったチャオさんに、会場から大きな拍手が送られました。

## 子どもの学力向上を願って — ミャンマー米山学友会 —

今年2月に創立したミャンマー米山学友会が10月20日、現地の小中学校で成績優秀者への表彰式を開きました。支援活動のためミャンマー訪問中の京都西RC会員も同行しました。

表彰されたのは小学1年生～中学4年生の各学年成績上位者で、自転車や学用品が贈呈されました。学友会では、教育に熱心でありながら資金不足に悩む学校の窮状を知って支援を始め、9月には貯水タンクを設置するための寄付もしています。タンシンナイン会長（2003-05/東京調布RC、現・東京米山ロータリーEクラブ会

員）は「こうした表彰は学校始まって以来のことで、大変喜んでもらえました。自転車を見た生徒は、信じられないという面持ちでした。これを機に勉学に励み、学力の向上につながればうれしい」と語りました。



もうすぐ締切

普通寄付金 申告用領収書の申請は11月末まで



普通寄付金分の確定申告用領収証の申請期限は11月30日です。

当会ホームページのメニュー、**寄付金について** → 「普通寄付金：申告用領収書の申請はこちら」からお手続きください。特別寄付金については来年1月下旬にクラブ経由で送付しますので申請不要です。

平成29年11月27日

ガバナー各位

ロータリー文庫運営委員会  
委員長 大塚信郎

拝啓

菊花の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。  
このたびは、下記10点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。  
なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致しております。

敬具

追伸 下記ご掲載の場合は〔申込先〕もご記載下さるようお願い致します。

## 文庫通信 (363号)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。  
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。  
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### デジタル化されたロータリー文献 (6)

- ◎「東一郎」 米山梅吉編 1921 124p
- ◎「ロータリー旅行記」 水嶋峻一郎 1935 28p
- ◎「職業奉仕の勘どころ」 D.365 1970 39p
- ◎「素顔のロータリー」 三宅徳三郎 高松R.C. 1974 85p
- ◎「落穂集・斎藤堅治パストガバナー講話より」 青森R.C. 1976 172p
- ◎「ロータリーの心」 笹気幸助 仙台R.C. 1978 9p
- ◎「決議23-34はロータリーのキイ・ポイントである」 末積 正  
関西ロータリー研究会 1985 112p
- ◎「社会的責任の中心としての職業奉仕」 鈴木憲輔 [1994] 9p
- ◎「職業奉仕における『個人奉仕』の意義-個人は良心の座であり創造性と  
責任感の源泉である」 鈴木憲輔 1995 10p
- ◎「フォアウエイ・テストは前進する」 大阪R.C. 2003 39p

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階  
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日